

公式試合記録

記録者名	本田 達也			主審署名欄	戸島立晶			運営責任者	原 雄二								
大会名	令和5年度 第102回全国高等学校サッカー選手権富山県大会				準決勝		2023/11/3	競技時間	80分	観衆	約 600 名						
会場	高岡スポーツコア サッカー・ラグビー場	天候	晴れ	風	微風	状態	天然芝・乾燥	審判	主審 戸島 立晶	副審 朝倉 優太	第4審判 鷺尾 拓実						
kick off	チーム名 富山工業高等学校				0		チーム名 富山北部高等学校		1		kick off						
延長 kick off					延長 1						延長 kick off						
PK																	
交代選手																	
交代時間	シュート(得点)				学年	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	シュート(得点)	交代時間				
分	延後	延前	後半	前半								前 半	後 半	延前	延後		
77 分					3	池田 時丸	1	GK	GK	1	町田 陽映	3					
62 分					3	小川 祐太	2	DF	DF	2	東川 颯汰	3					
分					3	稲場 悠太	3	DF	DF	4	大村 悠太	2					
分					3	川西 優希	4	DF	DF	5	中村 龍之介	2					
分			1	1	2	坂端 凌空	5	DF	DF	18	平蔵 大和	3					
分					2	温井 康生	6	MF	MF	6	山本 瑛太	3					
分					2	片岡 勇人	8	MF	MF	7	中井 幹也	2					
分			1	1	3	細川 奎司	10	MF	MF	8	川端 隼斗	3					
分					3	島倉 和希	11	MF	MF	9	新庄 優輝	3					
62 分					3	若宮 伊吹	7	FW	MF	30	中島 澄也	2	1	1			
分					3	勝山 歩舞	9	FW	FW	11	笠原 光晟	3		0	1		
分					3	永井 優哉	12			3	向出 篤生	3					
3 分					3	二橋 琢磨	13			10	松村 幸紀	3					
分					3	柴田 大輝	14			12	橋本 顕悠	2					
分					3	天野 翠翔	15			13	今家 優志	3					
分					3	長谷川 昂	16			14	本田 海人	3					
2 分					2	表寺 将英	17			16	小柴 誠太郎	3					
分					2	高松 倅聖	19			17	谷口 慶樹	2					
分					3	田村 幸誠	22			22	野尻 虎太郎	3					
7 分					2	寺田 晟吾	26			25	松崎 瑛太	2					
交代要員																	
合計																	
小計																	
得点時間	No.	氏名	事由	計	延後	延前	後半	前半	前半	後半	延前	延後	計	得点時間	No.	氏名	事由
				9			4	5	G K	4	4		8	80+1	5	中井 龍之介	ラフ
				2			1	1	C K	1	2		3				
				9	8		6	2	直接FK	2	5		7				
				1			1	0	間接FK	0	0		0				
				0			0	0	P K	0	0		0				
得点	得点時間	得点チーム	得点者名	アシスト者名	得点状況(略号例:ドリブル~, ゴロー, 浮き球↑, 混戦×, ヘディングH, シュートS)												
80+1 分	富山北部	笠原 光晟	本田 海人	右2④↑中央1⑩左足S													
分																	
分																	
分																	
分																	
分																	
戦評者氏名	【 和田 高汰 】 (フルネームを記入) 勤務先又は所属 【 不二越工業高等学校 】																
晴天の中行われた準決勝第2試合は、富山工業高等学校と富山北部高等学校が対戦した。富山工業のシステムは1-4-2-3-1、対する富山北部のシステムは1-4-4-2で臨んだ。両チームともに序盤はリスクを背負わず、後方からのロングボールを多用し、相手陣でセカンドボールを拾い、チャンスを作ろうとする展開が続く。富山工業は追い風を活かし、DF⑤坂端、MF⑩細川のロングシュートによって立て続けに決定機を作り出す。富山北部はDFラインでの組み立てにMF⑦中井が加わることで徐々にリズムを作り始め、MF⑩中島やFW⑪笠原にボールを集めてチャンスを窺う。膠着状態が続いたまま両チームともに決定的なチャンスを作り出せないまま前半戦が終了した。後半追い風に立った富山北部は左サイドハーフの中島とMF登録の左サイドバック⑧川端のコンビネーションから攻撃を組み立てようと試みる。富山工業はFW登録の②寺田を右サイドハーフ、DF③二橋を投入し、攻撃を活性化させる。対する富山北部はMF⑭本田を右サイドハーフ、FWに⑩小柴を投入し、チャンスを窺う。80+1分、富山北部は本田の右サイドからの浮き球のスルーパスに抜け出した笠原が冷静にループシュートを沈め、先制する。中盤での激しい攻防を制し、攻撃を展開しようとする両チームの対戦であったが、少ないチャンスを活かした富山北部が勝利し、決勝戦へと駒を進めた。																	